

令和5年度（2023年度）学校評価について【石狩紅葉山校舎】

1 保護者アンケートについて

(1) 回答率

昨年度同様、紅葉山については用紙で回収後、Google Forms に入力。

- 【内訳】
- ・石狩紅葉山小学部 96.2% (26/27)
 - ・石狩紅葉山中学部 76.5% (13/16)
 - ・石狩紅葉山全家庭 90.7% (39/43)

(2) 分析および考察

① 今年度の全体的な傾向

- ・昨年度と比較すると若干の低下が見られた項目もあるものの、全体としては評価が上がった項目も多くあり、今年度も本校の教育活動について一定の評価をいただけていると思われる。

② 高評価項目

- ・全項目とも平均ポイントを上回っており、ばらつきや落ち込み等は見られない。

③ 低評価項目

- ・昨年度低かった5（地域との連携）はコロナウイルスによる制限緩和により実施されるようになり、これまでの保護者の心配が改善される結果となった。

④ その他（自由記述欄含む）

- ・全般的に本校の教育活動を評価する好意的なコメントが多く、とりわけ、きめ細かな指導・支援や家庭連絡に関する謝辞が多い。

2 教職員アンケートについて

(1) 回答率

Google Forms による回答方式。昨年度は82.4%だったが、今年度は88.9%。紙面による回答と大きく変わらない結果であった。

- 【内訳】
- ・石狩紅葉山小学部 83.3% (10/12)
 - ・石狩紅葉山中学部 100.0% (6/6)
 - ・石狩紅葉山全教諭 88.9% (16/18)

(2) 分析および考察

① 今年度の全体的な傾向

- ・質問項目は保護者アンケートとおおむね同じ内容であるが、全項目で保護者評価よりも評価が低い結果となっている。職員が現状を善しとせず、保護者よりも厳しい目線で自己評価できていることは健全であると言える。

② 高評価項目

- ・ 4（安全・安心）が他項目と比べて高く、感染症予防を含めた児童生徒の健康・安全に対する意識の高さがうかがえる。
- ・ 20（服務規律の遵守）について、昨年同様、高いポイントを示しており、日々、人権を尊重した指導を心掛けていることがうかがえる。

③ 低評価項目

- ・ 3点未満の評価はなかった。

④ その他（自由記述欄含む）

- ・ 校舎間の人事交流を進め、改善を図るなどの意見が出されている。

3 まとめ（学校課題および今後に向けての改善の方向性等）

地域資源の活用をコロナ禍以前の活動をコロナ禍で身に付いた要素を加えて取り組めるようにしたい。今年度より設置された学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用して、地域資源の活用や交流等をより一層深めるべく、具体的な手立てや取組について、活発な議論が必要である。